学校現場での 課題 に対応した 教科書の工夫等

課題1 » 小中接続

詳しくは内容解説資料「小中連携ガイド」をご覧ください。

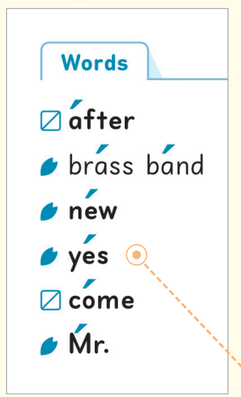


Q 小学校の教科書を見て、生徒が学んできたことを確かめる余裕がありません。

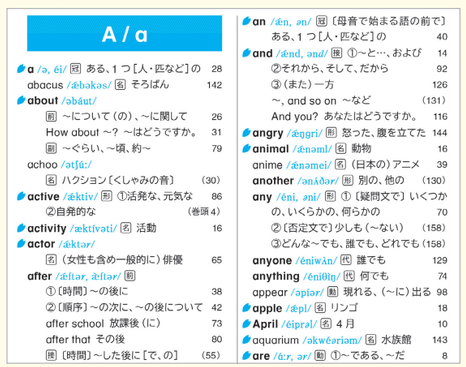
A 小学校で学習した語句・表現に マークを付けて、ひと目でわかるようにしています。



Unit側注



巻末Word List



A / a

a /ə, ei/ 冠 ある、1つ［人・匹など］の 28
abacus /ǽbəkəs/ 名 そろばん 142
about /əbáut/
前 ～について（の）、～に関して 26
How about ～? ～はどうですか。 31
副 ～ぐらい、～頃、約～ 79
achoo /ətʃúː/
名 ハクション（くしゃみの音） (30)
active /ǽktiv/ 形 ①活発な、元気な 86
②自発的な （巻頭4）
activity /æktívəti/ 名 活動 16
actor /ǽktər/
名 （女性も含め一般的に）俳優 65
after /ǽftər, ɑ́ːftər/ 前
①［時間］～の後に 38
②［順序］～の次に、～の後について 42
after school 放課後（に） 73
after that その後 80
接 ［時間］～した後に［で、の］ (55)
an /ǽn, ən/ 冠 ［母音で始まる語の前で］ある、1つ［人・匹など］の 40
and /ǽnd, ənd/ 接 ①～と…、および 14
②それから、そして、だから 92
③（また）一方 126
～, and so on ～など (131)
And you? あなたはどうですか。 116
angry /ǽŋgri/ 形 怒った、腹を立てた 144
animal /ǽnəməl/ 名 動物 16
anime /ǽnəmèi/ 名（日本の）アニメ 39
another /ənʌ́ðər/ 形 別の、他の (130)
any /éni, əni/ 形 ①［疑問文で］いくつかの、いくらかの、何らかの 70
②［否定文で］少しも（～ない） (158)
③どんな～でも、誰でも、どれでも (158)
anyone /éniwʌn/ 代 誰でも 129
anything /éniθiŋ/ 代 何でも 74
appear /əpíər/ 動 現れる、（～に）出る 98
apple /ǽpl/ 名 リンゴ 18
April /éiprəl/ 名 4月 10
aquarium /əkwéəriəm/ 名 水族館 143
are /ɑːr, ər/ 動 ①～である、～だ 8

基本文のまとめ

Unit 4-1	☑ **This is** Ms. Thusi. **She's** our English teacher. ☑ **That's** Mr. Hoshino. **He's** our P.E. teacher.
Unit 4-2	☑ **Who**'s that? —He's **a new student**.
Unit 4-3	☑ **Is** this our classroom? —Yes, it **is**. / No, it **isn't**. ☑ This **is not** our classroom.
DL 1	☑ **Whose** pencil case is that? ☑ **Whose** is it?
Unit 5-1	☑ **Turn** on your camera. ☑ **Don't be** shy. ☑ **Let's begin**.

ポイント1 新版では、巻末だけでなく教材中でも **小学校で学んだ語句を確認できる** ように

A 小中接続期の教材Let's Be Friends! で、小学校の学びをふり返り、生徒が「できること」「できつつあること」を確かめられるようにしました。





1年 Let's Be Friends! 5, 7(p.13, pp. 16-17)

ポイント2 Let's Be Friends!は **自己紹介中心**

Q 生徒たちは、小学校の授業とのギャップに戸惑っているようです。英語が嫌いになってしまわないか心配です。



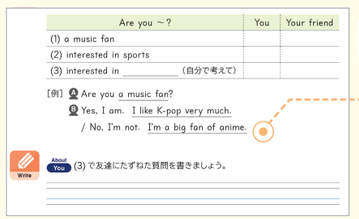
A 1年のUnit 3までを読み書きの準備期間とし、ストーリーを楽しみながら文字や文法の学習に慣れていくことができるようにしました。



ポイント3 Unit 1～3の本文を **マンガのようなレイアウト** にして、**読む負荷をできるだけ少なく**



1年 Unit 2 Part 1(p. 38)



1年 Unit 2 Part 1(p. 39)



1年 Unit 2「Eri and Kotaと学ぶ基本文」(QRコンテンツ)

ポイント4 Unit 1～3は **手書き体フォントと4線で、表現を書き写しやすく**

ポイント5 基本文も **アニメーションで楽しく導入**

課題2 » 高校入試などで求められる力の育成

「令和5年度 中学校英語 全国学力・学習状況調査問題 高校入試問題 早わかりガイド」もぜひご覧ください！

☑ 長文化するリーディング問題への対応



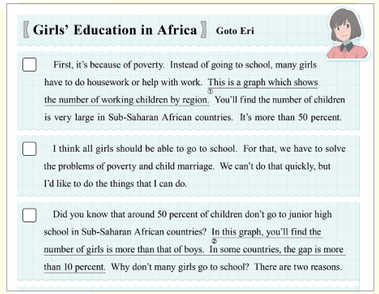
Q 長文化するリーディング問題に対応できる力がつくのかが心配です。

A 「高速処理」する力、つまり多量の英文からできるだけ短い時間で概要や要点を捉える読み方は、Unit の Goal で練習できます。



ポイント1 概要を捉える読み方

3年 Unit 5 Goal「世界の課題について考えよう」(pp. 68-69)



『Girls' Education in Africa』 Goto Eri

☐ First, it's because of poverty. Instead of going to school, many girls have to do housework or help with work. ① This is a graph which shows the number of working children by region. You'll find the number of children is very large in Sub-Saharan African countries. It's more than 50 percent.

☐ I think all girls should be able to go to school. For that, we have to solve the problems of poverty and child marriage. We can't do that quickly, but I'd like to do the things that I can do.

☐ Did you know that around 50 percent of children don't go to junior high school in Sub-Saharan African countries? ② In this graph, you'll find the number of girls is more than that of boys. ③ In some countries, the gap is more than 10 percent. Why don't many girls go to school? There are two reasons.

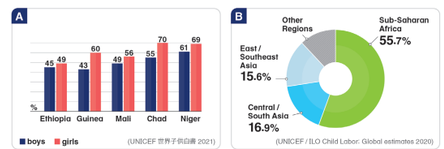
Read

Eri が準備した原稿や資料が、ばらばらになってしまいました。

(1) 内容のつながりを考えて、段落の正しい並び順を、左ページの ☐ に数字で書きましょう。

(2) 左ページの下線①～②の説明に合う資料を下から選び、表に記号を書きましょう。

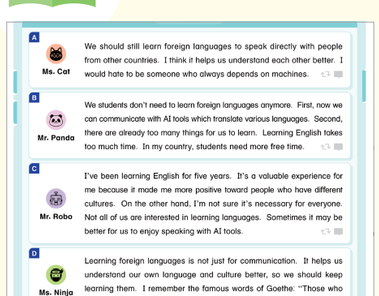
① ☐
② ☐



CAN-DO プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる。 CAN-DO List (R-2)

ポイント2 要点を捉える読み方

3年 Unit 4 Goal「投稿文を読んで、自分の意見を書こう」(pp. 54-55)



A Ms. Cat: We should still learn foreign languages to speak directly with people from other countries. I think it helps us understand each other better. I would hate to be someone who always depends on machines.

B Mr. Panda: We students don't need to learn foreign languages anymore. First, now we can communicate with AI tools which translate various languages. Second, there are already too many things for us to learn. Learning English takes too much time. In my country, students need more free time.

C Mr. Robo: I've been learning English for five years. It's a valuable experience for me because it made me more positive toward people who have different cultures. On the other hand, I'm not sure it's necessary for everyone. Not all of us are interested in learning languages. Sometimes it may be better for us to enjoy speaking with AI tools.

D Ms. Ninja: Learning foreign languages is not just for communication. It helps us understand our own language and culture better, so we should keep learning them. I remember the famous words of Goethe: "Those who know nothing of foreign languages know nothing of their own."

Read

左の 4 人の投稿文を読んで、外国語を学ぶことに対する意見の違いを捉えましょう。

1. あなたは、登場人物や左の投稿者の意見を、表に整理することにしました。
左の A ～ D の投稿者の意見が表のどこに当てはまるかを考えて、☐ に記号を書きましょう。

Learning foreign languages is		
still necessary	important but not necessary	not so necessary anymore
Hajin ☐ ☐	☐	Kota ☐

2. それぞれの意見の理由となる文に線を引きましょう。
・"Learning foreign languages is necessary." と考える理由 (——)

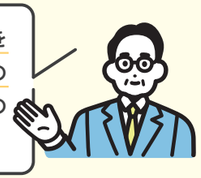
CAN-DO 投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる。 CAN-DO List (R-3)

☑ 生徒自身の考えとその理由を問う問題への対応

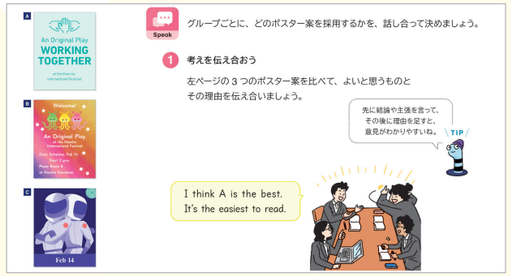


Q 自分の考えとその理由を話したり書いたりする問題を前にすると、固まってしまう生徒が多いのですが…。

A 考えとその理由を伝える力を段階的に育てていくための活動および英語表現を、教科書の随所に掲載しました。

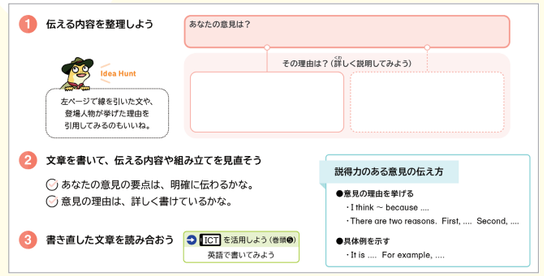


ポイント1 話す活動でも



2年 Unit 7 Goal「ポスター案について、自分の意見を伝えよう」(pp. 98-99)

ポイント2 書く活動でも



3年 Unit 4 Goal「投稿文を読んで、自分の意見を書こう」(p. 55)

☑ 即興で話すテストへの対応

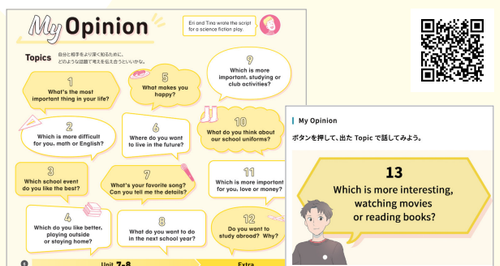


Q 即興で話すテストに対応する力を、どのようにつけさせたらよいですか。

A 授業で学んだことを、QR コンテンツを活用して、家庭でもくり返し練習できるようにしました。



ポイント1 Let's Talk! の質問がランダムに提示される、QR コンテンツ



Let's Talk! ルーレット (QR コンテンツ)

ポイント2 全国学力・学習状況調査などを参考にしたスピーキングテスト



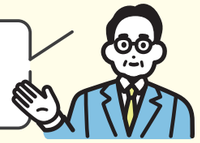
You Can Do It! 関連教材
「テストにトライ！」
(QR コンテンツ)

課題3 » 令和の日本型学校教育とICT活用



Q GIGAスクール構想で導入された学習者用端末を十分に活用できていません。どのような使い方が、英語の学習に効果的でしょうか。

A 新版教科書では、ICTを活用した学習のイメージを教科書巻頭に示しつつ、目的や活動の内容に応じた具体的な活用アイデアを教材内でも紹介しています。





2年 ICTを活用しよう（前見返し5）

ICTの活用方法や留意点

一人一台端末の活用方法や、タブレットなどを使うときに気をつけることを、具体的に動画で紹介します。

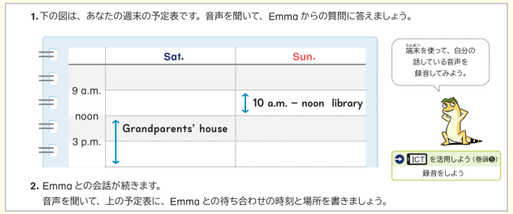


☑ 個別最適な学び

ポイント1 自分のペースでくり返し活用できる**QRコンテンツ**を多数用意

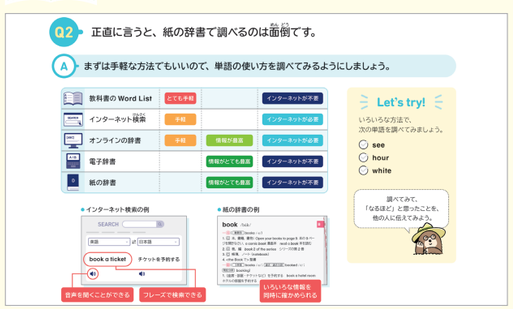
▶詳しくは本書p. 38

ポイント2 **録音機能**を使った活動を設定



3年 Daily Life 1「計画を立てよう」(p. 18)

ポイント3 **オンラインの辞書**などの活用を提案



1年 英語の学び方ガイド「辞書の使い方」(p. 150)

☑ 協働的な学び

ポイント1 社会に出てからも役立つ、**ICTを活用した発信や発表活動**を設定

●タイピング

ICT を活用しよう（巻頭❺）
英語で書いてみよう

2 伝える内容や書き方を見直そう
- 用件が伝わるメールになるように、伝えたいことを整理できているかな。
- メールを受け取った David に、楽しみな気持ちが伝わるかな。

3 書き直したメールを読み合おう



2年 Unit 3 Goal「メールの返事を書こう」(p. 39)

●プレゼンテーション

選んだものとそれが役立つ場面などを書いてまとめ、グループごとに発表しましょう。

ICT を活用しよう（巻頭❺）
画面を共有しよう



2年 Unit 5 Goal「防災バッグの中身を決めよう」(p. 67)

ポイント2 **録画**をしてふり返り、**学び合う場面**を設定

3 動画を撮影しよう

Lizzy にあなたの学校の魅力が伝わるような紹介動画を撮影(さつえい)しましょう。
撮影した動画を見せ合い、一番魅力的なものをクラスで選びましょう。



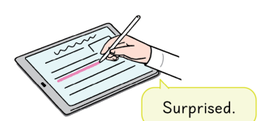
1年 You Can Do It! 3「動画で学校の魅力を紹介しよう」(p. 129)

ポイント3 **デジタル教科書に線を引いて、読んだことをもとに考えを共有**する活動を設定

Speak グループになり、左ページの記事を読んで感心したことや驚いたことについて、自分なりにコメントをしましょう。

1 伝える内容を整理しよう

左ページの記事の中で、自分が感心したことや驚いたことに線を引き、それについてどう思ったかをメモしましょう。Active Words (p. 128)



3年 Unit 1 Goal「記事を読んで、コメントをしよう」(p. 17)

読んだことなどを引用して、自分の考えを伝える力を養います

COLUMN

Here We Go! における ICT活用の考え方

2019年に始まったGIGAスクール構想により、一人一台端末環境が実現しました。しかし、せっかくの端末を十分に活用できていないのではないかという声も聞かれます。

「どう活用すれば、英語の力がつくのか。」
「どう活用すれば、学びが豊かになるのか。」

このような先生方の問いにお答えできるよう、言語活動の中での効果的な活用方法を追究し、いつも負担なく使えて、いろいろな活動に生かせるアイデアを随所に掲載しました。

課題4 » その他の今日的教育課題に対する編集上の配慮

ポイント1 書体の選定における配慮

●英語の書体は発達段階に配慮

1年で、小学校英語教科書で使われる手書き文字に近い書体からブロック体につなげます。また、1年後半から2年をセリフ体への移行期として、実際の英語の表記や外部試験等でよく使われるセリフ体に少しずつ慣れることができるようにしました。

小中接続期		1年		2年
a	»	a	»	a
手書き体		ブロック体		セリフ体
光村図書が独自に開発したフォントです。		1年後半は移行期として、Let's Read等の教材にセリフ体を使用しました。		

●日本語の読みやすさへの配慮

ほぼ全ての日本語の文に、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。

UD書体

students

数えられる名詞は、1つか2つ以上かで表し方が変わる。複数の場合には、語尾に -s か -es を付ける。
➔英語のしくみ (p. 157)

ポイント2 特別支援教育への配慮

特別支援を必要とする生徒にできる限りの配慮をし、全ての生徒が使いやすい教科書を目指しました。特別支援教育の観点から、全ページにわたり、専門家の指導・校閲を受けています。

●学習の流れがわかりやすい

学習の流れをそのまま紙面化し、情報のまとまりごとに余白や線で区切ったレイアウトにより、学ぶことが直感的にわかるようにしました。

●大切なことがわかりやすい

基本文 | 相手のすること・好きなことなどをたずねる。 | Do you ...?

I play the trumpet.
▶ **Do** you play an instrument?
— Yes, I **do**. / No, I **don't**.

play や like などの一般動詞の疑問文では、do を主語の前に置きます。答えるときは、yes や no を使います。
➔Active Grammar (p. 57)

「基本文」など学習上重要な箇所は太い線ではっきり囲んで、他の情報と区別できるようにしました。

ポイント3 色覚の多様性への配慮

色覚特性のある生徒が、色を識別できないことが理由で学習に支障をきたすことがないよう、全ページにわたり、カラーユニバーサルデザインの専門家の指導・校閲を受けています。

●色だけでなく、形でも識別できる

肯定文		Tina	plays	the drums.
疑問文	Does	she	play	the trumpet?
	— Yes, **she does**. / No, she **does not**.			
否定文		She	does not play	the trumpet.

主語と動詞を、色だけでなく形でも識別できるようにしました。

ポイント4 人権上の配慮

人権教育に配慮した教材の選定や学習活動を行うために、次のような点に配慮しました。

■取り上げる題材や登場人物などについて、性別や身体的特徴、年齢、人種、国、地域などに極端な偏りがないよう配慮しました。

性別を特定しない単数(1人)の代名詞として、they が使われることもあります。
1年 Active Grammar 2(p. 71)

■旧来の固定的イメージにつながるような表現をできるだけ避け、家事をする男性や働く女性の姿などを取り上げました。









教科書基本データ

週4時間(年間140時間)の授業に対応した、適切なUnit数や語数を設定しました。

Unit数・配当時数等データ

			1年	2年	3年	合計
ページ数			176	176	176	528
Unit数			8	8	8	24
配当時数の目安	主教材	Let's Be Friends!	8	—	—	8
		Unit	71	72	68	211
		You Can Do It!	6	6	6	18
	小教材	Daily Life	5	7	4	16
		Let's Read	3	11	12	26
		Active Grammar	7	8	5	20
	合計時数		100	104	95	299
QRコンテンツの数			337	228	194	759

語彙データ

		1年	2年	3年	合計	小・中合計
学習語	小学校既習語※	490	72	16	578	2237
	中学校初出語	426	614	619	1659	
学習語のうち太字の語	小学校既習語	373	41	3	417	901
	中学校初出語	231	172	81	484	

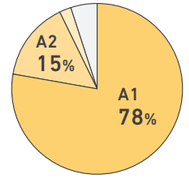
※小学校既習語について
●光村図書の小学校英語教科書での学習語のうち622語を「小学校学習語」と定めました。このうち中学校教科書では578語を掲載しました。
●小学校での単語の扱いは、読み・書きを十分に扱い定着を目指すものではないため、本教科書では小学校既習語もWords欄に示し、改めて学習することを促します。

上記に加え、付録の読み物教材などで150語程度の語彙に触れることができます。

太字の語=「発信語彙(使えるようにしたい語)」選定にあたって

「発信語彙(特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語)」の選定にあたっては、複数のコーパスやCEFR-Jの語彙リスト、小学校英語の語彙リスト、過去の検定教科書掲載語などを元にした独自のリストを作成し、その中の上位900語程度を太字の語として選定しました。太字の語の割合を少なくして、学習負担を軽減します。

太字の語のCEFR-Jランク別割合



※不規則動詞の活用形などCEFR-Jのリストにない語を「その他」に分類しました。

太字の語のうち8割近くがA1の語です。

- A1:78%(704語)
- A2:15%(133語)
- B1:2%(17語)
- その他:5%(47語)

Words

- email /íːmèil/
- flight /fláit/
- pack(ing) /pǽk(iŋ)/
- week /wíːk/

「意味がわかるだけでよい語」は細字で示しています。